

1 7 善悲觀音



ぼけ封じ觀音の「普悲觀音像」を安置

「普悲觀音堂」の入ったところ中央に、独特の金属光沢を持ったぼけ封じ觀音の「普悲觀音像」(左の写真)が安置されている。この像からうける印象と『ぼけ封じ觀音』という名前の間に何となく違和感がある。

「普悲觀音像」の周囲、堂の壁面に沿って西国三十三ヶ所と四国八十八ヶ所の各札所の本尊を刻んだ小さな石仏像がとり囲んでいる。

1 8. 鐘樓



本堂の前には、方一間、周囲四方吹き放しの鐘楼があります。

こちらは、江戸時代中期・18世紀の建物です。

その昔、この鐘楼には、桃山時代の武将、片桐且元の陣鐘と伝わる梵鐘がありました。

いまは新しい鐘に取り替えられていますが、古い鐘は納経所で展示されています。

総持寺の鐘は、参拝者なら誰でも撞いていいようです。お参りするときと同じで、お辞儀などの手順だけは忘れずに！